



福島に福が来る



満点の星空を見上げれば、
心の中までリフレッシュ

標高1600mに位置する浄土平は、光害の少ないスターウォッチングポイントとして有名。天文台は10月末までの水・土曜には夜間開館もしているので(雨天・曇天時は中止)、温泉でのんびりリラックスした後は、ドライブしてみるのもおすすめです。



色鮮やかに衣替えした、
山々の美しさに目を奪われて

福島の子のドライブに欠かせない、山を縫うように走る磐梯
吾妻スカイライン。天狗の庭やつばくろ谷など、つづら折りに
続く約29kmの道沿いは紅葉のシーズンを迎え、標高1600mの
浄土平から見渡す風景は圧巻です。 (11月中旬まで開通)



鏡のように映し出される紅葉に、
時を忘れて立ちつくす

吾妻山の火山活動によりできた桶沼は、周囲350m、直径100mの小さな沼。浄土平ビジターセンターから片道約20分の散策コースも整備され、ドライブ途中に気軽に立ち寄ることができます。





口いっぱい広がる幸せ
たわわに実った福島の恵みに舌鼓

“くだもの王国福島”の秋を楽しむなら、フルーツラインの果物狩りが必須。リンゴ・ブドウ・ナシが食べ頃を迎え、甘い香りを放ちながら道行く人たちを誘います。特に密入リンゴの「フジ」は他を圧倒するおいしさで、もぎたてのジューシーな果物は、この時期ならではの楽しみです。



冬の使者の訪れと共に、
遠くに見える山々も白く衣替えを始める

阿武隈川の畔にあるあぶくま親水公園には、毎年10月頃になると北の国からたくさんの白鳥が飛来し、疲れた羽根を休めます。中でも緑色の標識をつけた「アンナ」は名前を呼ぶと近づいて来ることから、来園者の人気を独り占めています。



個性豊かな4つの名湯を楽しむ

やまとたけるのみこと

日本武尊が入ったと伝わる
松尾芭蕉も立ち寄った名湯

いゝざか

飯坂温泉



温泉街を流れる摺上川沿いに60数件の旅館が建ち並ぶ“福島奥座敷”。日本最古の木造建築共同浴場「鯖湖湯(平成5年改築)」をはじめ、9つの共同浴場はいずれも200円で入浴でき、手軽に温泉巡りが楽しめます。足湯「あ〜しあわせの湯」「ちゃんこちゃんこの湯」もオープンしました。



あ〜しあわせの湯



かむほどに素朴な味が染みる

〈いかにんじん〉

千切りしたするめいかとにんじんを調味料に一晩漬け込んだ、福島地区に伝わる家庭料理。主に冬の保存食として食べられていましたが、その歴史は100年以上前にさかのぼり、松前漬のルーツとも言われています。



飯坂温泉観光協会

〒960-0201 福島県福島市飯坂町十綱町3番地
TEL024-542-4241 FAX024-542-4753
<http://www.iizaka.com/>

13種類の泉質が自慢の
聖徳太子ゆかりの湯

つちゆ

土湯温泉



1400年以上の歴史を持つ温泉は「東北三大こけし発祥の地」としても有名で、豊富な湯量と泉質を誇ります。川のせせらぎを聞きながら楽しめる「土ゆっこ」、荒川大橋のたもとにある「かじかの湯」、温泉街の中心部にある「月の湯ぶじえ」といった足湯の他、共同浴場も2カ所あります。



土ゆっこ



ぷるぷるした食感がたまらない

〈こんにゃく〉

福島市荒井地区は蒟蒻芋の隠れた名産地。この上質の蒟蒻粉と土湯の自然水を使った手作り蒟蒻は、ゆず、ごま、豆腐、熊笹など種類も豊富でヘルシーです。さしみこんにゃくの他、ちぎりこんにゃく、こんにゃくゼリー、こんにゃくアイスもあります。



土湯温泉観光協会

〒960-2157 福島県福島市土湯温泉町字上ノ町1
TEL024-595-2217 FAX024-595-2016
<http://www.tsuchiya.gr.jp/>

山間に湧く白いお湯が特徴の
奥州三高湯の一つ

たかゆ

高湯温泉



山間の秘湯は国民保養温泉地にも指定されている名湯で、かけ流しのお湯が楽しめる大好評です。温泉街の中心にある日帰り温泉「あったか湯」には、岩と木の2つの露天風呂、家族で楽しめる貸切風呂(要予約)などがあり、薬効成分の高い白いお湯は、肌がすべすべになると人気を集めています。



あったか湯



大きさとおいしさにびっくり

〈ジャンボ田舎とうふ〉

国産大豆を100%使用し、吾妻山の清水で作る無添加の田舎豆腐。130年の歴史を持つドライブイン清水屋自慢の逸品は、高湯温泉の名物としてお土産にも人気です。他にも小麦まんじゅうやところてんなど手作りの品々が揃っています。



高湯温泉観光協会

〒960-2261 福島県福島市町庭坂字高湯25
TEL024-591-1125 FAX024-591-1136
<http://www.naf.co.jp/azumatakayu/>

水戸黄門も湯治に訪れた
“ほんとの空”の下にある名湯

だけ

岳温泉



草津、雲仙などと並ぶ酸性泉の温泉は全国でも珍しく、神経痛や冷え症などに効果があるとされています。高原の空気とウォーキングを楽しんだ後は、昨年誕生した「手だけの湯・足だけの湯」が疲れを癒すにはぴったり。大浴場、温水プール、遊歩道などを有する「スカイピアあだたら」は、一年を通して人気の施設です。



足だけの湯



智恵子のふるさが生んだ銘酒

〈地酒〉

城下町二本松で江戸時代から続く酒蔵が、安達太良の名水で作ったこだわりの地酒。芳醇な香りとまろやかな味わいの清酒は、各種鑑評会で入賞するなど国内外で高い評価を受けています。



岳温泉観光協会

〒964-0074 福島県二本松市岳温泉1-16
TEL0243-24-2310 FAX0243-24-2911
<http://www.naf.co.jp/dake/>

福島の秋を堪能する 3つのモデルコース



街なか周遊&レジャースポットを巡る

1泊2日コース

- 1日目** Aコース 福島西I.C.→御倉邸→ふれあい歴史館→福島稲荷神社→文化通り商店街(石屋小路ホール)→福島県観光物産館→①飯坂温泉②土湯・高湯・岳温泉(宿泊)
Bコース 古閑裕而記念館→花の写真館→福島県立美術館→福島稲荷神社→文化通り商店街(石屋小路ホール)→福島県観光物産館→①飯坂温泉②土湯・高湯・岳温泉(宿泊)

- 2日目** ①飯坂温泉→医王寺→フルーツライン果物狩り(リンゴ・ブドウ・ナシ)→磐梯吾妻スカイライン→福島市民家園またはアンナガーデン→福島西I.C.
②土湯・高湯・岳温泉→磐梯吾妻スカイライン→福島市民家園またはアンナガーデン→フルーツライン果物狩り(リンゴ・ブドウ・ナシ)→医王寺→福島飯坂I.C.

福島県の自然・歴史とふれあう

2泊3日コース

- 1日目** 福島飯坂I.C.→フルーツライン果物狩り(リンゴ・ブドウ・ナシ)→四季の里→水林自然林→福島市民家園→①飯坂温泉②土湯・高湯(二本松城)→岳温泉(宿泊)

- 2日目** ①飯坂温泉→医王寺→磐梯吾妻スカイライン→福島西I.C.→いわき湯本IC→アクアマリンふくしま→いわきら・ら・ミュウ→いわき湯本温泉(宿泊)
②土湯・高湯・岳温泉→磐梯吾妻スカイライン(高山植物)→浄土平天文台→いわき湯本IC→アクアマリンふくしま→いわき湯本温泉(宿泊)

- 3日目** いわき湯本温泉→スパリゾートハワイアンズ→いわき湯本IC

色とりどりの紅葉を満喫する

- 1日目** 福島西I.C.→不動滝→磐梯吾妻スカイライン→四季の里→①飯坂温泉、②土湯・高湯(二本松城)→岳温泉(宿泊)

- 2日目** ①飯坂温泉→福島飯坂I.C.→須賀川I.C.→羽鳥湖→塔のへつり→湯野上温泉(宿泊)
②土湯・高湯温泉・岳温泉→真磐梯松原湖→野口英世記念館→東山温泉(宿泊)

- 3日目** ①湯野上温泉→鶴ヶ城→会津若松I.C.
②東山温泉→会津武家屋敷→御薬園→鶴ヶ城→会津若松I.C.



県立美術館 真磐梯松原湖 鶴ヶ城 アクアマリンふくしま 二本松城(霞ヶ城)

福 中国の旧正月には街中に飾られるこの文字は、人々が幸せに暮らせるよう、また素晴らしい未来が到来するようにとの願いが込められた古くから伝わる風俗。「倒」ど「到」の発音が同じことから、「福」の字を逆さに貼って「倒福(福を逆さにする)」=「到福(福が来る)」の意味を表した、縁起の良い文字です。

お問い合わせ 福島商工会議所

〒960-8053 福島県福島市三河南町1-20 コラッセふくしま8階
TEL024-536-5511 FAX024-525-3566

ふくしま GUIDE MAP

表紙の写真 / 天狗の庭

吾妻山の山すそを走る磐梯吾妻スカイラインは、街中より一足お先に錦秋の季節。天狗が舞い遊んだ「天狗の庭」、切り立った谷から見下ろす市街地も絶景の「つばくろ谷」をはじめとする「吾妻八景」では、車を止めてシャッターを切る人が後を絶ちません。

フルーツライン

浄土平天文台

五色沼

つばくろ谷

天狗の庭

吾妻小富士

桶沼

土湯温泉

土湯峠温泉郷

岳温泉

磐梯吾妻スカイライン

白鳥飛来地

花見山

福島県観光物産館(コラッセふくしま)
福島駅
文化通り商店街(石屋小路ホール)
ふれあい歴史館
県庁
御倉邸